

「健康まつり」は10月30日(日)会場 介護センター(ぎやうじょ)

折込みチラシをご覧ください



健康委員会・夏休みこども企画 夏休み恒例のこども料理教室を開催

8月3日、青年の家に子ども料理教室を開催しました。小学1年生～4年生の7名、大人10名の参加でした。今回はキーマカレー、ジャガイモのスープ、ゴボウと小松菜のサラダ、レモン入りサイダー寒天の四品に挑戦しました。子どもさん達は、お母さん、おばあちゃんと共に小さな手で野菜洗い、刻み、計量カップ、計量スプーンを使つての料理作り、また盛り付けも皆さん真剣でした。できあがった野菜たっぷりのカレーは好評でした。後片付けも楽しいと言つてお手伝いできました。きちんと食べ、身体を動かし、薄味に慣れて健康でいたいとの思いを家族で作つていけたらと思います。この日の企画の達成で味を楽しみながら語り合い、人との繋がりで、満足感と充実感が得られました。

健康委員 松浦 好子

2016年8月31日現在

組合員 3900人

出資金 1億6296万円

7～8月の動き

組合員 新規加入19人

退会 4人

本紙をEメールで配信しています。

ご希望の方は、下記メールアドレスへお申し込みください。

jimukyoku@seino-mcoop.jp

発行 2016年9月8日

(奇数月発行)

西濃医療生活協同組合

組合事務所

〒503-0982

大垣市久徳町153-1

TEL 0584-92-3268

FAX 0584-93-1169

編集 ニュース編集委員会

せ い り ゅ う

リオデジャネイロオリンピックは日本人アスリートの大活躍もあり、盛況のうちに閉幕しました。9月7日～18日には障害者スポーツの祭典であるパラリンピックが開催されます。ここでも日本人選手が大いに活躍していることと思います▼パラリンピックは元々、パラプレジア(脊髄損傷)＋オリンピックの造語とされていきました。先の世界大戦で負傷し車いす生活となった入院患者の英国でのスポーツ大会がそのルーツであるからでした。その後、様々な障害をもつた方々が参加するようになったため、現在ではパラレル(平行)＋オリンピック(オリリンピックと平行して行われるもう一つのオリリンピック)という解釈であるとされています▼障害者スポーツは機能回復訓練や社会復帰の手段として普及してきたという歴史があります。その中でパラリンピックがオリリンピックと併せて開催されるようになり、障害者スポーツの知名度も抜群に向上しました▼一方で、ややもすると競技スポーツのエリート選手育成に重点がおかれ、重度障害児者のスポーツの参加の場が閉ざされる傾向も見受けられます。本来、障害者スポーツは、障害の種類や程度に応じてきわめて多様であり、対象者のニーズも千差万別なのです▼全ての障害者が障害の種類や程度に応じて、それぞれに適したスポーツやレクリエーションに参加できるよう、情報提供の仕組みや社会環境を整備していくことは勿論、障害を持つ方々に諦めず、スポーツに取り組んでもらえるよう声をかけ続けたいと思う今日この頃です。(S・H)

理事長退任の ごあいさつ



宇津 時雄

この度、6月の総代会をもって理事長を退任させていただきました。

後任には見識豊かで、経験豊富な木村新理事長が就任されました。新理事長のもと、新たな発展の道が生まれ西濃医療生協の未来への夢が大きく広がっていくことと確信しています。

この間微力な私でしたが、組合員の皆さんや役員、職員さんのスタッフに支えられ無事任を終えることができました。皆さんのご協力、ご支援に心より感謝し、お礼を申し上げます。

退任にあたり『げんき』前号「せりゅう」で紹介され、温かい言葉をいただきました。ありがとうございます。

西濃医療生協発足以来、理事長、理事長としての職責を、15年間の長きにわたり務め、関わらせていただきました。その間役員としての活動をする中で、多くの仲間や職員さんに励まされ、教えられて、色々学び、

医療生協の活動を通じて生きがいを感じてきました。現在こうして元気に活動ができることも医療生協と多くの仲間との出会いがあったからこそ、と思っています。

西濃医療生協は今まで多くの組合員の活動や努力によって着実に発展してきました。しかし今日の社会保障をめぐる情勢や課題から見ればまだ力不足の組織です。今の情勢や課題に立ち向かうべく仲間を増やし組織の拡大を図ることが最も重要だと考えています。そこから次の事業展開につながっていくのではないのでしょうか。「住みなれた地域で、安心して住み続けられるまちづくり」や誰もが安心して医療や介護が受けられ、地域から信頼され、頼られる医療生協として大きく発展させていかなければなりません。「健康をつくる・平和をつくる・いのち輝く社会をつくる」生協理念を大切にしながら、目的に向かって一丸となり、新理事長のもと新たな運動の発展と飛躍へ共に頑張っていきたいと思っています。これからよろしくお願います。

遅くなりましたが、退任のごあいさつとします。長い間、本当にありがとうございました。

第15回通常総代会で新しく選ばれた理事・監事

【理事長】

木村隆之（代表理事・全体区）

【専務理事】

松岡和彦（代表理事・全体区）

【常務理事】

柄澤正人（代表理事・全体区）

長屋由利子（西濃南部支部）

中尾恵美子（大垣西支部）

正岡礼子（神戸支部）

【理事】

大橋保子（大垣中央支部）

岡崎和子（揖斐支部）

岡田美栄子（大垣西支部）

川村一郎（大垣西支部）

玄 瞳（宇留生支部）

斎藤葉子（大垣西支部）

笹田参三（全体区）

染矢君子（不破支部）

高木正一（赤坂支部）

谷出二三江（大垣東支部）

長尾拓裕（職員）

野津京子（西濃南部支部）

長谷川金重（大垣北支部）

松岡 恵子（大垣中央支部）

吉田健次（大垣北支部）

【監事】

伊藤紀雄（大垣市）

大橋泰子（大垣市）

健康まつり実行委員会からのお知らせ 組合員出し物を募集しています

西濃医療生協では、10月30日（日）に介護センターしずさとで健康まつりをを行います。

その中のコーナーの1つに組合員の皆様の出し物コーナーがあります。その出演者を募集しています。歌・演奏・手品などなんでも構いません。我こそは！という方は是非ご応募ください。

出演して頂く内容など詳細は、下記連絡先までお願いします。



健康まつり実行委員会
事務局 奥田尚史 0584-91-3912

デイ・ショート合同夏祭り

残暑厳しき折、みなさまいかがお過ごしでしょうか。介護センターしずさとは、本年もデイサービス・ショートステイご利用者対象の「夏祭り」を開催しました。多数のボランティアさんや日清医療の職員さんにご協力をいただき、食べ物を中心とした出店を用意



しました。葛餅、アイスクリーム、焼きそば、お好み焼き、フライドポテトなどを提供しました。味も好評で「美味しい、美味しい」と笑顔で召し上がる姿が大変印象的でした。締めくくりにはスタッフ、ボランティア、ご利用者と一緒に炭坑節を踊りました。太鼓の音色も響く中、盛大な夏祭りとなりました。

奥田 博巳

しずさと診療所 あすなるの会「脳卒中の再発防止について」を開催



8月27日（土）しずさと診療所リハビリルームにて、第6回あすなるの会が開催されました。

今回は、長谷川医師による講演で、「脳卒中の再発予防について」お話ししていただきました。参加者はご本人・ご家族

族合わせて13名。たくさんの方々に参加していただくことができました。

講演後の質疑応答では、「今回の講演を聞くまでは、脳卒中は再発するとよく耳にしていたため、不安だった」といった意見が聞かれました。それに対して、同調する意見も多く、また、「みんなで気を付けていこう」といった前向きな発言も多くみられました。この会が、病気に対して前向きに向き合う機会となっているように感じました。

言語聴覚士 多賀 文香

職員紹介

しずさと診療所看護師

田中 美樹



7月 入社
から 職

した田中美樹といいます。患者様、御家族様の心に寄り添う看護を提供できるように努力します。どうかよろしくお祈りします。



今年のインフルエンザワクチンについて チメロサル（保存剤）無添加 ワクチンは製造されません

今シーズン（2016～2017）は、チメロサル無添加のインフルエンザワクチンは製造・供給されないことが決まり、すべてチメロサル入りの製剤となります。理由としては、①大手ワクチンメーカーの化血研の工場が熊本地震により被災したこと、②他のワクチンの不正製造に対する業務停止処分があり、インフルエンザワクチンの供給に影響が出る可能性があります。そこで、より安定したインフルエンザワクチンの生産体制を確保するため、

製造工程の複雑なチメロサル無添加製品の製造を見合わせるよう、国から指導がありました。

インフルエンザワクチンに添加されているチメロサルは無視できるぐらいの微量であり、また体内に蓄積されない性質を持っているので、過剰に心配する必要はないと言われています（厚生労働省）。また、チメロサルが入っている副反応の増加は報告されていませんので、今年度も積極的に接種することをお勧めします。昨年まで、チメロサル無添加製剤を希望されていた方で、チメロサル入りワクチンの接種に不安のある方は、診療所までご相談ください。

予防接種の日程については、決まり次第、別途はがき等でご案内いたします。

中央支部主催

長谷川先生を囲んで

（医療・介護なんでも相談会）

日時 9月24日（土） 14時～16時

*14:00～15:00 健康チェック

・尿検査・血圧測定・体脂肪測定（無料）

・骨密度測定（組合員は300円、非組合員は500円）

*15:00～16:00 長谷川先生を囲む会

場所：介護センターしずさと「多目的ホール」
ご参加お待ちしております。

健康委員会健康講座 救急救命初心者コース

日時 9月25日（日） 10:00～11:30

場所 介護センターしずさと

講師 中消防署 救急救命士

参加費 無料

ご参加お待ちしております。



西濃医療生協の10人(写真)を合わせ岐阜県から総勢40人が参加

全日本民医連

全国共同組織

活動交流集會に参加して

全日本民医連共同組織全国連絡会が主催の第13回活動交流集會が9月4～5日にかけ加賀温泉郷において開催され、全国から2000人が集いました。

「決めるのは私たち 憲法をいかに平和・人権・環境を守ろう」をテーマに行われました。地域まるごと安心して住み続けられるまちづくりの活動が、25分科会・260演題にのぼる報告があり、交流

しました。

当生協から10人が参加しましたので、感想を掲載します。

子育て世代のお母さんたちへの働きかけが大切

長屋田利子

私はこの交流集會に初めて参加しました。

全体会では加賀市文化会館にて行われ、オープニングの御陣乗太鼓の素晴らしさに魅了されました。記念講演での柳沢深志先生のお話

「いのちに寄り添う民医連と共同組織」は、父親が子どもたちに向けた手紙を私たちに披露して下さいました。先生の優しさと誠実さが

伝わってきて、素敵でした。中でも「健康に格差があつてはならない」「魂は金で買えない」「最も困

難な人に光を与えると他の人も光があたる」と言われたことが印象的でした。

リレートークの中では岡山の「子育て応援行事と子育て世代の担い手づくり」は参考になり、ぜひ私達の医療生協でも取り組んでいきたいことだと思いました。若いお母さん世代への働きかけが大切なことであり、担い手づくりには欠かせないことだと感じました。

二日目の分科会では「共同組織

を強く大きくする取り組み」に参加しました。地域訪問活動の報告の中で「組合員さんは専門家が一緒に訪問すると反応が違う」と発言があったので、地域の組合員訪問をぜひ職員の方と共にすすめていきたいです。班づくりは仲間ふやしの基本だと思いますが、どの地域の方も班づくりには苦労している様子でした。民医連の月刊誌「いつでも元気」を購入し、班会として読み合わせの学習会をしたいです。

貴重な体験をさせていただいて感謝します。

安心のまちづくりをめざして「たすけあい活動」始めたい

中尾恵美子

一日目の記念講演は柳沢深志先生の「笑って死ねる病院」テレビでも放映され有名になった取組のお話でした。先生の3人の息子さんにも解るようにと手紙形式で、優しく丁寧に話されました。民医連だからできたと確信しました。最後まで患者さんに寄り添い、チームを作ってスタッフ皆で支える事は急にはできない。普段から憲法を学び、調査活動をしながらか地域を知る。健康に格差があつてはいけないという民主的集団医療の実

践報告でした。

二日目の分科会では、私は「たすけあい」活動の取り組みを深く学びたいと思い参加しました。そこで、とにかく始める事が先決と思いました。秋にはスタートしたいです。「地域包括ケアシステム」も民医連・医療生協のスタイルをたくさん聞く事ができました。マツ作り、たまり場作り、班作りなど。そして医療生協のお便りの手配りは地域の見守りサポートに匹敵するので、是非各自治体から補助金をもらうべきではないかとまとめ発言でありました。私たち西濃医療生協は「地域まるごと安心して住み続けられるまちづくり」に取りかかっている。明るい心になつて大垣に帰ってきました。参加させてくださり本当にありがとうございました。

9～12月「生協強化期間」

■現在3900人。4000人組合員まで、あと100人の仲間ふやしにご協力を。お知らせの方をご紹介します。

■健康まつりや支部主催の健康講座などに、お知らせを誘ってご参加ください。

■近所、お友達で健康班会をしませんか。健康チェック器材を貸し出します。

※お問合せは、当生協本部まで

赤坂支部健康サロン

「笑う健康法・転倒予防」

8月9日（火）10時から岐阜大学旧早野邸セミナーハウスで、大垣市保健センター辻保健師をお招きして「笑う健康法・転倒予防」について講話と簡単な体操を行いました。20人が参加しました。

人生80年（7時間睡眠）で笑う時間はたった22時間30分、子どもは1日平均400回・大人は6回（韓国イ・ユンソク博士による研究結果）。泣くことも笑いと一緒でストレス解消になり、作り笑いでも同じ効果があることを知りました。保健センターのリーフレットの監修者伊藤一輔先生もストレス快笑法を

提案されています。SII笑い・酒・睡眠・スポーツなどです。笑状日記（笑ったとき・泣いたとき・感動したこと）を毎日付けることでも良いそうです。これらの積み重ねが健康法の一助になります。転倒防止も、歯磨き・テレビを見ている時など片足立ち・膝の曲げ伸ばしなど自分にあった運動を毎日3分、5分と継続すればよい結果がついてくるようです。

次回の健康サロンは10月11日（火）10時～12時、長谷川賢治さんをお招きして「ツボは3千年の力」をテーマに講話を含めて体験学習します。お隣り様と一緒に遊びに来てください。参加費1000円です。

宇津 巖

西濃南部支部

伊吹山自然観察会を実施して

恒例になった「伊吹山観察会」を8月4日に行いました。

関ヶ原駅を午前10時のバスで伊吹山に向かいました。バスが到着し1377・31メートル（どちらから読んでも同じ）の頂上を目指して歩き始めました。薄いガスがたちこめ日差しが遮られ気持ちのよい日でした。しばらく歩くと鶯の声が聞こえてきました。皆さんがカメラを向けシャッターを切る先には、鶯の姿がありました。毎年来ているのですが鶯の姿を見て、カメラに収めたのは初めての経験でラッキーでした。昨年にはなかった、シカよけの防護柵が目立つようになりましたが、ボランティアの人々の努力もあり、シモツケソウのピンクの花が目には鮮やかでした。頂上で昼食、ガイドさんによる伊吹山の特徴の話

を聞き、三角点で記念撮影。東登山道コースを約60分かけ下山しました。ガイドさんのおかげで、様々な種類の植物の名前を教えて頂きましたし、昨年には見られなかった、トリカブトの鮮やかな紫色の花やサラシナショウマの白い花に目を奪われました。身も心もリフレッシュできた日となりました。（N・T）



西支部 荒崎班 ツボを押させて健康づくり

7月23日（土）午後1時より3時まで長松会館において「若さと活力を手」に「ツボを押させて健康づくり」について鍼灸師、理学療法士の長谷川賢治さんのお話を聞いた。参加者は21名でした。

最初は東洋医学の根本をなす「気」について呼吸法の極意三調節、調身（姿勢）、調息（息の仕方）、調心（意識）について教わり、ツボの箇所について一箇所ずつ一人一人の座っているところに廻って「ここがツボ」だと教えてもらった。中には「痛い」と叫び声も聞こえてきた。こうして1日に2～3回ツボの刺激をすることの大切さを知ることができました。

参加者の一人は「これまであそこが痛い、ここが痛い」と病院に行って薬ばかり増やしていた。これではだめだな」と反省していた。またある人は、「しばらく家で2～3回続けてみたい」と話していた。数日後にわかったことは「夏の集まりは午後ではだめ」。参加するつもりなの何人かは「昼寝をして参加できずごめんね」と語っていた。

今後とも地域の高齢者の関心の深い話題を取り上げ続けて行きたいと思いました。

酒向 梓



「膀胱癌」について

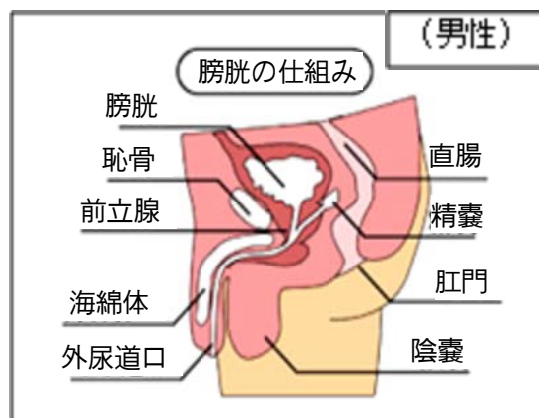
しずさと診療所 所長 柄澤正人

2015年度の日本での癌の罹患率（癌になっている人＝死亡率ではない）は、臓器別でみると、男女とも大腸癌、胃癌、肺癌がほぼ横並びで多く、また、男性では前立腺癌、女性では乳癌が最近急速に増えています。

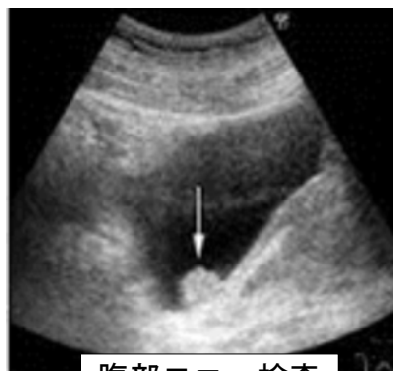
膀胱癌はまだ少ないですが（男性 13位、女性 16位）近年急速に増えています。膀胱癌も含めて増えている癌の原因は、喫煙や食生活の欧米化が指摘されています。膀胱癌はその他、染料工業で使用する化学染料に含まれる芳香族アミン類が原因となることも明らかです（現在は発癌性のあるものは製造や輸入は禁止されています）

しずさと診療所でも、この数年、エコー検査にて膀胱癌がよく発見されるようになりました。右表のようにこの3年間で3～4件の膀胱癌が見つかっています。

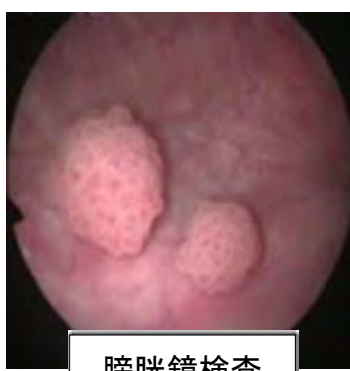
症状は、無症候性血尿（血尿以外の症状がない）が最も多いですが、見た目には血尿ではなくても試薬で検査すると血液反応が出る（尿潜血（+））場合もあります。検査は、エコー検査が手軽で便利です。確定診断は、膀胱鏡で直接 膀胱の中を観察し検査します。



	腹部エコー 件数	発見した 膀胱癌
2002～2013 年 (計 12 年間)	4605	4
2014 年 (1 月-12 月)	447	3
2015 年 (1 月-12 月)	439	4
2016 年 8 月まで	290	4



腹部エコー検査

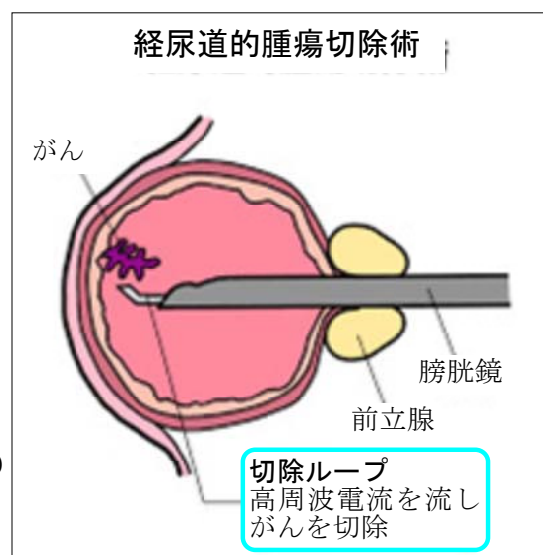


膀胱鏡検査

膀胱粘膜にとどまった早期のものであれば、膀胱鏡を使って癌を剥ぎ取ります（経尿道的腫瘍切除術）。膀胱そのものは切除しませんので術後の排尿には支障ありません。

膀胱癌の特徴は、同時に複数で発生する（異所性多発）、手術後も他の部位に新たに発生（異時性再発）することが多いことです。従って手術後も定期的に検査を受けていくことが重要です。

血尿の自覚のある方はもちろん、検査で尿潜血(+)の方、治りにくい膀胱炎の方など、腹部エコーをお勧めします。



空襲体験・戦争体験を語りつぐつどい

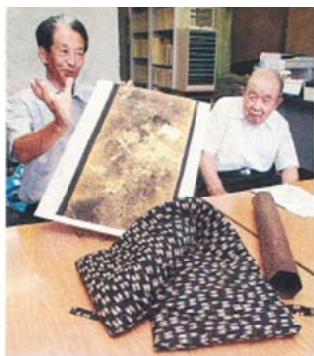
あの悲惨な体験を

繰り返さない

7月24日、「空襲体験・戦争体験を語りつぐつどい」が開催されました。この「つどい」は、今年で28年目となります。

1945年、日本各地は米軍による空襲を受けました。大垣も6回の空襲を受けています。この「つどい」は、最も激しい空襲を受けた7月29日に近い日曜日に開催されています。

今年の開催日である7月24日は、原爆投下訓練としてパンプキンが水門川べりに投下された日でした。パンプキンは長崎型原爆と同型の一万ポンドの模擬原爆です。投下訓練とはいえ、近くにあった農業会の建物は壊滅し、職員の方などが亡くなっています。水門川べりの「被爆地の跡」



碑には10名のお名前があります。

7月29日の大空襲では、50名の方が亡くなられました。この数は、岐阜空襲での死者が800名以上であることに比べると、桁違いに少ないものです。当時は、市民も逃げずに消火せよ、とされていたが、岐阜空襲を体験し、とても消火作業などできるわけがない、命が大事との方針転換があったようだ、という報告があり、その内容については、引き続き調査をすることになります。そのことについて伝聞や資料などをお持ちの方はお知らせいただけるとありがたいです。

当日は、戦後世代の数人に加えて、小学生・中学生が3名とその親さんの参加もあり、体験者のお話に耳を傾けました。

高木 正一

法律相談

弁護士法人ぎふコラボ
西濃法律事務所

もし交通事故にあったら... 自動車保険の弁護士費用特約について

(1) 自動車保険（任意保険）の 思わぬ落とし穴

交通事故はある日突然やってくる身近なトラブルです。自動車保険（任意保険）に加入しているみなさんは、事故に関することは全て保険会社が解決してくれると思っていますませんか？

しかし、任意保険は本来「加害者」になったときの備えなのです。そのため、契約者が一方的な被害者となった場合（つまり、契約者側に全く過失がない場合）、保険会社は相手方と交渉してくれません。保険会社が使えないとなると、自分で事故の相手や相手の保険会社と交渉しなくてはなりません。

(2) 被害者になった時のための保険

保険会社が動けない場合、弁護士に頼みたいと思いますよね。でも、以前は、弁護士に払う費用の点がネックになり、依頼をためらう例が多かったのです。

しかし、任意保険のオプションである弁護士費用特約（権利保護特約ともいいます）に加入していれば、保険会社がその費用を負担してくれます。

具体的には、弁護士費用特約があれば相談費用を気にすることなく弁護士のア

ドバイスを受け、その上で、依頼する弁護士をじっくり選ぶことができます。

また、弁護士に依頼する場合、通常は着手金（弁護士に依頼するときに払うお金）を自分で支払い、報酬（依頼終了時に弁護士に払うお金）は相手方から回収した賠償金から支払うことになります。しかし、特約を使えば着手金も報酬も保険から支払われるので、相手方から回収した賠償金を全額うけとることができるのです。

さらに、物損事故で修理金額が少額な場合など、弁護士にかかる費用が回収額を超えてしまう場合でも、弁護士費用特約があれば、ためらうことなく依頼できます。

(3) 弁護士費用特約の勧め

弁護士費用特約分の保険料は、年間数千円程度なので、それほど負担も大きくないと思います。また、弁護士費用特約を使う場合、多くのケースは、各県の弁護士会から弁護士が紹介される形となっていますが、それは、ご本人がどの弁護士に頼めばよいかわからないという場合であり、ご本人が特定の弁護士に依頼したい場合でも、もちろん、弁護士費用特約を使うことができます。

被害者になったときに泣き寝入りしないために、弁護士費用特約に加入されることをお勧めします。

※弁護士費用特約を扱っていない保険会社もあります。詳細は各保険会社にご確認下さい。弁護士特約を利用される際は、事前にその旨を保険会社へお伝え下さい。

弁護士 松岡真帆

無料

くらし何でも相談会

多重債務（破産・再生・任意整理）、離婚・親権、遺産相続、交通事故、労働災害、医療事故、消費者被害、損害賠償など。提携弁護士がご相談をお受けします。

日時： 9月15日（木） 午後1～3時
10月20日（木） 午後1～3時

場所：しずさと診療所内

○相談料：無料

○相談時間：30分

○事前申込みが必要です。本部電話 0584-92-3268

植栽ボラにご協力お願いします

下記の日時で草取りを行います。皆様のご協力を何卒よろしくお願い致します。

日時 10月16日（日）午前7時～8時

場所 診療所、介護センター

問合せ先 正岡 礼子 電話 0584-27-5957



ウォーキングの会

9月

今回は416年前、東西の権力闘争の跡を偲んで、地元の染矢さんの案内で関ヶ原の笹尾山等を訪ねます。

話し合い譲り合って、戦いのない平和な世の中を望むのが私達。傷つけあい、殺しあいをさせられるのが民の命、もう二度とそんな世の中には、戻りたくもありません。

期日 9月19日（月・祝）雨天時21日（水）

集合場所 教育会館 8時30分
しずさと診療所 8時45分
関ヶ原歴史民俗資料館 9時15分

持ち物 弁当・水筒・雨具、杖と登山靴
または運動靴で

会費 100円と交通費300円

問合せ先 馬淵 秀人 0584-91-5687

☆10月のウォーキングの会は17日の予定です。

山楽会

9月

期日 9月12日（月）雨天時14日（水）

目的地 貝月山（1234m）

*歩行時間（2+1,5）時間

*健脚度：中級の上

*ふれあいの森から登る（8月と別ルート）

集合場所 教育会館 7時30分発

しずさと診療所 7時45分

池田中央公民館 8時15分

揖斐川町J A 8時30分

ふれあいの森 9時45分

大垣帰着 17時頃

持ち物 弁当・水筒（2リットル程）

雨具・タオル

参加費 会費100円＋交通費400円

問合せ先 奥田 進（0584-89-2604）

（携帯 090-7687-0031）

☆10月の山楽会は24日（夜叉ヶ池）の予定です。

しずさと診療所 診療時間のご案内

- 水曜日夜は泉医師が診察を担当します。柄澤医師は予約制の慢性疾患特別診察を担当します。
- 金曜日の午前診察は長谷川医師が診察を担当し、柄澤医師は胃カメラ・エコーを担当します。
- 第4土曜日の診察は長谷川医師が担当します。
- 外来リハビリは月～金の午前中、通所リハビリは月～金の午後に行っています。

診療科目 内科・外科・整形外科・リハビリテーション科

		月	火	水	木	金	土
8～9時	検査	柄澤	柄澤	柄澤		柄澤	柄澤
9～12時	第一診察室	柄澤	柄澤	柄澤	柄澤	長谷川	※柄澤
	第二診察室	長谷川	長谷川	長谷川		<検査> 柄澤	
	訪問診療	長谷川	柄澤 長谷川	柄澤 長谷川	柄澤	柄澤 長谷川	
17～19時	第一診察室	柄澤		泉		長谷川	
	第二診察室			※柄澤			

<医療・介護のお問い合わせは>

▼しずさと診療所

電話 0584-93-1170 FAX 0584-93-1169

〒503-0982 大垣市久徳町153-1

▼デイサービスひのき

電話 0584-93-0310 FAX 0584-93-0311

〒503-0981 大垣市松町706

▼介護センターしずさと

電話 0584-91-3912 FAX 0584-93-1151

〒503-0981 大垣市松町1452

- ・介護支援センター 0584-93-1171
- ・デイサービスセンター 0584-93-1172
- ・訪問看護ステーション 0584-93-1173
- ・ショートステイ 0584-93-1175